

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第1区分  
 【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公開番号】特開2005-230746(P2005-230746A)  
 【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-034  
 【出願番号】特願2004-45529(P2004-45529)  
 【国際特許分類】

**B 0 4 B 15/02 (2006.01)**

**B 0 4 B 5/00 (2006.01)**

【F I】

B 0 4 B 15/02

B 0 4 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月31日(2006.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

次に図3を用いて本発明の具体的実施例を説明する。図3において、9は交流電源33の電圧を遠心分離機の入力に適した電圧に変圧する変圧器であり、34は変圧器9の温度を測定する温度センサである。3は制御装置であり、内部に制御回路31および、ロータ4を回転駆動する駆動部8の電源となる電力回路32および、冷凍機6をオンまたはオフするための第一のスイッチング回路36および、送風機7をオンまたはオフするための第二のスイッチング回路35を有する。37は回転室5の温度を検出する温度センサであり、温度センサ37の出力を制御回路31に入力することで回転室5内の温度を検出できるように構成されている。なお、図3において制御装置3、制御回路31、電源回路32、第一のスイッチング回路36、第二のスイッチング回路35、変圧器9、温度センサ34は説明のため遠心分離機本体外に記載されており、実際には遠心分離機本体内に設けられている。さらに、表示装置1と操作パネル2は説明のため図1と比較して90°ずらした状態で記載している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

【図1】は本発明になる遠心分離機の前面から見た断面図である。

【図2】は図1を上面から見た断面図(A-A)である。

【図3】は図1および図2の具体的実施例を示すブロック図である。

【図4】は本発明になる遠心分離機の一実施例を説明するフローチャートである。

【図5】は本発明になる遠心分離機の実施例を説明するフローチャートである。

【図6】は従来の遠心分離機の前面から見た断面図である。

【図7】は図6を上面から見た断面図(B-B)である。